

2010 (平成 22)

びらとり 10

No.599

秋の健康づくり



(10月3日 ノルディックウォーキング in 二風谷)

今月号は…

- ・検証が始まる平取ダム建設事業
- ・町のひろば
- ・教育委員会からのお知らせ
- ・すこやかだより
- ・図書館へいこう ・・・ほか

平取ダム建設事業

平成 21 年 10 月 9 日、政権交代後、国土交通大臣は国直轄ダム事業については、ダムを建設するための①用地買収、②生活再建工事（ダムにより水没する周辺道路の整備等）、③転流工（ダム本体をつくるために川の流れを変える工事）、④本体工事の各段階のあらたな段階に入らないとし、平取ダム建設事業も事実上の凍結となりました。今後のダムを含めた、治水対策などについては国土交通省内の専門家による「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」を発足させ、「できるだけダムにたよらない治水」への政策転換を進めるとの考えに基づき検討を進めることとなりました。有識者会議は「幅広い治水対策の立案手法」、「新たな評価軸の検討」「総合的な評価の考え方」を整理し個別ダムの検証の進め方を内容とするとりまとめを、国民に広く意見を募る過程を経て、9 月 27 日に最終案を示しました。



洪水により濁流につかれたトマト栽培ハウス：平取町荷菜地区（平成 18 年 8 月）



約 5 万 m³、50 年分の流木を捕捉した二風谷ダム（平成 15 年 8 月）

今後、その案に示された個別ダムの検証の進め方に基づき、検証が始まることとなります。平取ダムに関しては北海道開発局が主体となり検討されることとなり、検討の流れとしては、①現在の基本計画を元にダム事業等の点検、②複数の治水対策案（堤防の嵩上げや遊水地の整備など）の立案、③利水（水道水）の観点からの検討、④治水対策案を評価軸（安全度・コスト・実現性・持続性・柔軟性・地域社会への影響など）ごとに総合的に評価し、対応方針を決定したうえで、国土交通省へ報告する予定になっています。その間、有識者会議、国土交通大臣ほか政務三役の意見等が付され、最終的にダムを作るのか、作らないかなどの対応方針が決定されることになります。その決定の時期は平成 23 年夏頃までとなっています。

堤防強化や遊水地の代替案はむずかしい

有識者会議では、ダムに代わるあらゆる治水対策を検討すると聞いていますが、例えば沙流川の場合、堤防を強化するためには流域の多くの農地を潰す結果になり、現在のトマトなどの生産にも影響が懸念されます。用地買収の問題とか、ダム建設以上のコストや時間がかかることになる可能性があります。遊水地についても広い平野を流れる川とは違い、実際には不可能と言ってもいいのではないかでしょうか。

また、ダムは洪水調整のみならず、渴水期に安定した水量を維持するためにも、大きな役割を果たすこととなります。このことからも、早期に平取ダムができることが重要と考えていますので、「平取ダム建設促進期成会」としても引き続きダム事業の継続を要請していきたいと思っています。



平取ダム建設促進期成会会長 楠木初男

沙流川総合開発事業のゆくえ 検証が始まる平

個別のダムの検証では、関係自治体からなる検討の場を設置し、関係住民、自治体の長、関係利水者の意見を聞くとしていますので、平取町としてもその場で、更に平取ダムの必要性を強力に訴える考えでいます。また、町としては継続的に中央への要請活動を、議会、期成会とともにに行っており、9月21日～22日には国土交通大臣をはじめ、道内選出国會議員、関係部署へ平取ダム事業の継続について地元の意向を訴えてきました。

さらに、サンルダム建設事業の継続を訴える下川町などの環境を同じくする道内自治体とも連携し、一層強固に要請活動を行う考えでいます。

このように平取町としては、今後の個別ダムの検証、中央の動きなどを注視し、早期に平取ダムの建設が着工されるよう最大の努力をすることとしています。



小川勝也 総理大臣補佐官への要望
(平成22年9月22日)

■沙流川総合開発事業の経緯■

- 昭和44年(1969)3月 沙流川水系工事実施基本計画策定
- 昭和48年(1973)4月 沙流川総合開発事業の実施計画調査着手
- 昭和57年(1982)4月 沙流川総合開発事業として建設着手
- 昭和58年(1983)3月 二風谷ダム及び平取ダムの建設に関する基本計画策定
- 昭和61年(1986)9月 二風谷ダム堤体建設工事着手
- 平成8年(1996)4月 二風谷ダム試験湛水開始
- 平成10年(1998)3月 二風谷ダム完成
- 平成14年(2002)7月 沙流川水系河川整備計画策定
- 平成15年(2003)8月 前線及び台風10号による洪水
- 平成19年(2007)3月 沙流川水系河川整備計画変更
- 平成19年(2007)7月 二風谷ダム及び平取ダムの建設に関する基本計画変更
- 平成21年(2009)8月 平取ダム本体工事費22年度概算要求される
- 平成21年(2009)10月 政権交代による国直轄ダム事業見直しにより一時事業が凍結



平取町長 川上 満

流域住民の命と財産を守るために平取ダムは必要なのです

平成15年8月、18年8月、今年も8月11日の大雨により貫気別地区では避難勧告が出されています。昨今の異常気象とも言える雨量の増大は統計を見てもはっきりしています。

沙流川総合開発事業の主目的である洪水調節機能は、二風谷ダム、平取ダムの両ダムの完成により、その機能が十分に発揮されるものであり、二風谷ダムが平成15年の未曾有の洪水で、5万m³の流木を補足し堤防崩壊を防いだと同時に、洪水調整により下流の水位を1m近く低下させ破堤を防いだことは明らかです。流域住民を洪水の驚異から開放し、命と財産を守るために平取ダムの建設が最も有効な手法であることを、検証委員会などの場で強く訴えていきたいと考えています。



激走！ホッカイドウ競馬

平取町長杯平取義経特別(9/7)

今年も、門別競馬場でホッカイドウ競馬平取町長杯が開催され、少し肌寒い中のナイトレースでしたが、多くの競馬ファンが来場し、熱い声援が送られました。

レースは、中央競馬にも負けない勢いで馬たちが激走し、豪快な蹄の音が場内に響き渡っていました。

レース後の表彰式では、優勝した馬主、調教師、騎手、厩務員に賞状などが川上町長から贈られました。

夢を諦めず、つかんだ国体出場

二風谷 稲原智子さん (9/14)

8月21日から開催された国体馬術北海道ブロック大会で、女性トップ通過となった稻原さんが、千葉国体への出場権を手にしました。

東京出身の稻原さんは、小学生から馬術に親しみ、大学の4年間は馬術部所属。卒業と同時に結婚し平取に来られ、子どもたちが保育所に入った昨年から、本格的に馬場馬術の練習を再開されたそうです。昔から夢見ていた国体出場を、見事に実現させました。

町長室に表敬訪問した稻原さんは「出場できるのもみんなが支えてくれたから。大会では楽しんできます」と抱負を語ってくれました。



ご寄付ありがとうございます

札幌市 森多賀子さん (9/14)

今年も、森多賀子さんが亡夫・武雄さんの遺志である「まちの教育や文化の発展のために」とご寄付くださいました。

平取への思いは変わらず寄付を続けていただき今年で5年目となりました。





素敵な「ニシパの恋人ランチ」 二風谷小学校試食会(9/16)

食育推進計画策定の一環として、町内の全小中学校の給食に、びらとり野菜・和牛を使用した「ニシパの恋人ランチ」が登場しました。

畜産公社、JA 平取町より食材の提供を受け、サイコロステーキや野菜サラダ、トマトゼリーなど、びらとりの味がふんだんに使われた安心・安全のメニューは、子どもたちにも大好評。おかわりする子もいて、いつもと一味違った楽しい給食の時間を過ごしていました。

先人の知恵を学ぶ

穀物の収穫体験交流事業（10/3）

子どもから大人まで約 80 名が参加し、イオル再生事業「穀物の収穫体験交流」が、二風谷で開催されました。

カワシンジュガイを加工した「ピバ」を使用し、イナキビを収穫していきました。初めて触れる道具に、最初はぎこちない手つきでしたが、次第にコツをつかみ、上手に収穫することができました。

その後、収穫を祝う儀式を行ってから、石臼を挽いて「イナキビ団子」と「手打ちソバ」の試食会となりました。

苦労して作った料理は大変美味しく、味わいながら昔の人たちの知恵に思いを馳せ、「伝統」を体験した貴重な1日となったようです。



地域を守る防災設備が加わります 防災協定書手交式（10/6）

災害対応型自動販売機設置の協定が、北海道コカ・コーラボトリング(株)と、町の間で締結されました。

この自動販売機は、災害時の飲料水確保が困難な時に、無料で飲料水が提供されるほか、掲示板に防災情報が表示されます。災害時以外は、地域情報を発信しますので、ぜひ一度ご覧ください。

今回「ふれあいセンターびらとり」と「びらとり温泉」2か所に設置されました。



※ 100歳表彰おめでとうございます※



井上シゲさん（荷菜）



賀集正義さん（紫雲古津）

老人の日記念事業として、今年は井上シゲさん、賀集正義さんが内閣総理大臣表彰を受賞しました。病院での伝達となりましたが、お二人ともこれからも長生きしてくださいね。

教育委員会からのお知らせ

*教育委員長の選任

9月30日をもって教育委員長を退任された佐々憲一さんの後任に、10月4日開催の教育委員会において本間稔浩さん（貫気別）が教育委員長に選任されました。



*新任教育委員のご紹介

新たに堀内敏明さん（振内町）が10月1日から教育委員に任命されました。



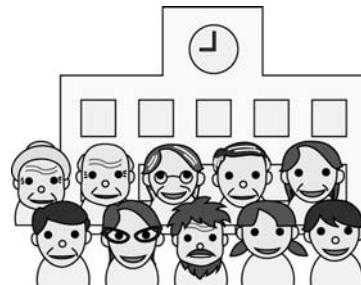
11月11日(木) 平取中学校実践研究発表会で公開授業

～生徒理解を通して、基礎基本の定着と自ら学ぶ意欲育む学習指導を追究～

前号の学校紹介にもありました平取中学校の実践発表会が次の日程で開催されます。日高管内教育関係者と、日頃ご支援ご協力をいただいている地域・保護者の皆さんへの公開授業が実施されます。

○参観の申し込み・問い合わせ

平取中学校（☎ 2-2415 FAX 2-2839）へご連絡ください。



1 名称 平取中学校平成22年度実践研究発表会

2 日時 11月11日(木) 9:00～12:10

3 会場 平取町立平取中学校

4 日程

9:00	9:20	9:30	10:20	10:30	11:00	11:20	12:10
受付		公開授業	休憩	研究協議	移動	開会式 研究発表	研究協議

5 公開授業



教科	学級	授業者	題材名
数学	3年A組	多田謙一 教諭 芳野正和 教諭	相似
技術	2年A組	蝦名正憲 教諭	エネルギー変換
理科	1年A組	田口俊郁 教諭	大地の変化

地域を知り、地域に誇りを持つ目標に ~二風谷小学校「ハララキ活動」~

本校では、「自分達の住む二風谷の良さを知り、二風谷に誇りを持てるようにする」ことをねらいとして、アイヌの伝統文化を調査・体験する総合的な学習「ハララキ（アイヌ語で鶴の舞の意）活動」を行っています。この活動は、平成9年度から13年間続いている本校の伝統ある学習活動です。

ハララキ活動は、「調査活動」と「体験活動」の二つを軸に構成されています。

まず一つめの「調査活動」ですが、1学期から3～6年生は各自のテーマで調査を始め、地域のお年寄りを訪れたり、図書館の書籍、インターネットなど様々な方法で調べていきます。そして9月の発表集会「ハララキ集会」では、ご指導ご協力いただいた方々や保護者の方を前に調査内容について発表します。今年の児童達のテーマは、

「二風谷周辺の魚」「二風谷の山菜・植物について」「アイヌの衣食住」「二風谷小学校の初代校長」などで、参観してくださったお年寄りが「今までずっと二風谷に住んでいたが、知らなかった」と驚く場面もありました。

二つめの「体験活動」のテーマは「土器作り」「木彫り」など色々ありますが、今年のテーマは「アトウシ織り」です。「アトウシ織り」とは、「オヒヨウ」という木の皮をはいで薄くのばし、織維状にしたものから糸を作り、その糸で織っていくアイヌの伝統的な織物です。

実際の織物は大がかりで、児童達には難しいものなので、今回は教員が用意する織機で縦糸と横糸を張り、簡単な織物を製作体験します。地域の方を講師に招いて、二風谷の伝統的な文化を体験する予定になっています。作業の流れを体験することにより、今まで親や地域の人が守ってきた地域の伝統的な文化やその仕事に触れ、理解を深めていくことになります。

このように二風谷小学校は、伝統あるハララキ活動を通して、これからも地域とともに文化を学び、伝統を守っていきたいと思います。



楽器演奏、歌、アコースティックギターコンサートを鑑賞～子ども芸術劇場

舞台芸術の鑑賞機会の提供を通して豊かな感性を育んでもらおうと、苦小牧信用金庫さまの寄付のもと、今年も子ども芸術劇場の小学校と中学校の部を町内の全小中学生を対象に開催しました。

<小学校の部> 8月30日（月）平取小学校体育館

ハート音楽院アンサンブルにより披露された演奏では、プサルタリーやハンマーダルシマーといった初めて見る美しい音色の弦楽器も紹介され、興味をもって鑑賞していました。また、アニメ「となりのトトロ」の挿入曲を合唱したり、舞台で踊りにも参加するなど、暑い日の公演でしたが、会場内は、演奏、歌、踊りで盛り上りました。



<中学校の部> 9月13日（月）平取中学校体育館

谷本光氏のコンサートでは、特殊奏法（パーカッション・タッピング・三線奏法など）が紹介され、アコースティックギター1本で和音・メロディ・リズムを奏でられることに驚きの声が上がりました。また、この奏法を使って「涙そうそう」など普段、私たちが聞き慣れた曲の演奏に聞き入っていました。演奏以外ではプロのギタリストになる夢を追い続けた話や、谷村新司氏のバックで演奏する夢がかなえられた話もされ、すばらしい鑑賞機会となりました。

演奏終了後は生徒を代表し、平取中学校の瀧 達成さんが「また、平取に来てください。」と握手を交わしました。



教育委員会からのお知らせ

「暑かったけど一生懸命刈り取りました！」～キッズチャレンジTHEあぐり

紫雲古津 10月2日（土）

児童がお米づくり体験を行っている田んぼで、実りの秋を迎えて、手刈りによる稲刈りを行いました。これに先立ち、9月11日に行った第2回目の観察では、稲のほかに近くのハウスでトマト、きゅうりの観察と収穫を行い、佐藤拓美さんにトマトの種はどのようになっているかなどのお話を聞きました。また、トマト選果場にも出向き、たくさんのトマトが集められ選果される様子を見学しました。



そしていよいよ迎えた稲刈りでは、倒れてしまった稲や、小さな手にはつかみきれない株もあって、ちょっとだけ苦労をしたようですが、鎌でザクザクと刈る感触がおもしろかったのか、リズミカルに刈り進めていました。次にまとめてわらで縛り“はさかけ”をしました。前も見えないくらいたくさんの中の束を一生懸命に抱えては今まで運びました。また、足踏み式脱穀機による脱穀体験も行いましたが、初めて見るという大人も多く、あつという間に粒とわらに分かれしていく様子に歓声が上がりいました。

この日は晴天に恵まれ風もなく、汗ばむくらいの陽気でした。作業を終えた後のお弁当はとても美味しく、また、田んぼの持ち主田中修さんから頂いたじゃがいもやかぼちゃ、スイカでおなかをいっぱいにして、秋の実りを実感した1日となりました。



「ベビーマッサージで親子のコミュニケーションを」～第2回子育て講座

児童館 10月5日（火）

平取町人づくり事業実行委員会では、子育てに関する知識の習得と情報交換の場として、子育て講座を開催し、講演会、実技、おはなし会などを行っています。

第2回目の講座では「親子でベビーマッサージを学ぼう」をテーマに、自身も3歳の息子さんがおり現在妊娠9ヶ月である、“ほっとまみいーず”的金内さおりさん（苫小牧市在住）を講師に迎え、ベビーマッサージの実技等を行いました。始めにその効果（親子の絆が深まる、コミュニケーションに有効、育児への自信、抵抗力、免疫力アップ、心身・脳の発達を促すなど）や赤ちゃんの肌の構造などについて学んだ後、実際にオイルを使いながらマッサージを行いました。先生にやり方を教えてもらいながら、丁寧に優しくなでてあげると、始めはちょっぴり嫌がっていた赤ちゃんたちもだんだんと落ち着いた表情に変わっていきました。中には気持ちよさそうにすやすやと眠ってしまう姿も。最後にお母さん達もハンドマッサージをしてもらい「ぜひ家でもやってみたい」「とても有意義な時間を過ごせた」「普段の疲れが癒せた」と笑顔で会場を後にしていました。



町民マラソン大会

親水公園 9月 25 日



各年代の参加者が多数集まり、第 27 回町民マラソン大会が開催されました。

前回の大会から追加された「幼児の部」では、男女あわせて 13 名の参加があり、うち 5 名が大会記録を更新するなど、今大会一番の激戦部門となりました。

当日は肌寒い天候でしたが、参加者はゴールを目指して一生懸命走り、大会記録も多く更新され、寒いなかでも熱い大会となりました。

新は大会新記録です

部 門		距 離	氏 名	学校・住所	記 録	備 考
幼児	男子	1km	北嶋 利隆	バチラー保育園	5分41秒88	新
幼児	女子	1km	寺田 皓眸何	振内保育所	5分19秒82	新
小学校	1年 男子	1km	西根 寛弥	貫気別小学校	4分51秒43	
小学校	1年 女子	1km	藤江 愁乃	振内小学校	5分23秒84	
小学校	2年 男子	1km	茶木 堅登	平取小学校	4分12秒67	
小学校	2年 女子	1km	川奈野 朱里	紫雲吉津小学校	4分51秒94	
小学校	3年 男子	2km	伊東 和陽	貫気別小学校	8分49秒96	
小学校	3年 女子	2km	渡部 黎	平取小学校	9分01秒80	
小学校	4年 男子	2km	藤本 朝陽	平取小学校	9分02秒37	
小学校	4年 女子	2km	野間 夏葉	振内小学校	9分37秒70	
小学校	5年 男子	3km	鶴野 立堂	平取小学校	12分32秒76	
小学校	5年 女子	3km	田中 真綾	平取小学校	13分22秒40	
小学校	6年 男子	3km	戸城 大樹	振内小学校	14分47秒27	
小学校	6年 女子	3km	水谷 朱里	平取小学校	12分19秒77	
中学校	1年 男子	6km	平村 太幹	平取中学校	24分34秒50	
中学校	1年 女子	4km	松島 来望	平取中学校	16分10秒33	新
中学校	2・3年 男子	6km	五十嵐 雅俊	平取中学校	23分46秒12	
中学校	2・3年 女子	4km	堀江 真優	平取中学校	19分58秒50	
青年(30歳未満)	男子	6km	鈴木 三二男	川向	25分24秒92	
青年(30歳未満)	女子	4km	佐藤 愛	本町	23分23秒72	
成年(30~39歳)	男子	4km	塙崎 剛	本町	15分07秒41	新
成年(40~49歳)	男子	4km	卯月 道彦	貫気別	17分07秒04	
成年(40~49歳)	女子	3km	樋野 久美子	本町	16分14秒03	
壮年(50歳~)	男子	3km	高橋 雅城	貫気別	12分23秒36	
壮年(50歳~)	女子	3km	大塚 恵美子	本町	16分07秒01	

すこやかだより

ー保健福祉課ー

ミツエおばあちゃんに聞く

食生活／今と昔

(旭・松永ミツエさん)

今、平取町では、町民一人ひとりが、『食』を通して健康で豊かな人生を送るための「食育推進計画」を策定中です。この計画には、世界に誇る長寿国である日本の、素晴らしい食文化の伝承を盛り込んでいます。

そこで今回は、変わりゆく食生活の今と昔を知る方に、お話を伺いましたので、皆さんにご紹ひします。

「お腹一杯食べれるつて幸せなことだよ、昔はお腹いっぱい食べたくても食べられない時代だった」そうミツエおばあちゃんは言います。旭に暮らす松永ミツエさんは今年九十二歳になる大正生まれ。

子どもの時の食生活について尋ねると、お腹がすいている時のおやつは、今のように、スナック類や甘いお菓子などではなく、畑になつているキュウリやダイコンを食べ、誕生



当時は、家族が食べる野菜や卵、肉など、そのほとんどが、自分の家の畠で採れたものや飼っていた家畜でまかなわれ、自給自足の生活を中心でした。嫁いでからは、家族の健康を考えながら、味噌や塩、豆腐は手づくり。もちろん、みそ汁や煮物のだしも、昆布や煮干しなどで、丁寧に取つてい

ました。手づくりすることを心掛け、現在も元気に暮らしています。

最後に、「今の若い人たちに何か伝えたいことがありますか?」という質問に、「今は食べ物が多過ぎて、いつでもどこでも好きな物をお腹いっぱい食べられる時代。だからこそ自分の身体にいい食べ物、必要な食べ物を選んで食べる事が大事。子どもたちに、手づくり料理のあたたかさを教えてあげてほしい」と言い、「特に、子育て中のお母さん達に伝えたい」そう話してくれました。

お話を伺つて…

今は、スーパーで食べ物を買つてくることが当たり前となり、すでにできあがつた惣菜を食事で使うことも多い時代です。しかしミツエおばあちゃんは、自分が口にする食べ物が、どのようにして育ち、どのようにして食卓へ運ばれてきたのか、幼い頃から自然に体験し、食べる事の大切さを学んできました。

確かに、現代の若い人たちとは、おばあちゃんのような、食べ物に関する体験や学習をすることは難しい環境にあります。だからこそ、手づくりすること、新鮮な食材へ触れる機会を多く持つことの大切さを、改めて思い知りました。



図書館へいこう

☆開館時間

火～金曜日 10:00～18:00
土・日曜日 10:00～17:00

☆休館日

月曜日休み、月曜日が祝日の場合は
月曜日と翌日が休みとなります

10月	11月
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2	① 2 ③ 4 5 6
3 ④ 5 6 7 8 9	7 ⑧ 9 10 11 12 13
10 ⑪ ⑫ 13 14 15 16	14 ⑯ 16 17 18 19 20
17 ⑯ 19 20 21 22 23	21 ㉑ ㉒ 24 25 26 27
24 ㉕ 26 27 28 29 30	28 ㉙ 30
31	

※□は休館日です。

It's New! 新しい本が入りました

ここに掲載されたもの以外にも、たくさん
の本がありますので、お気軽に図書館（☎ 4-6666）
までお問合せください。

あなたの一冊のお手伝いをします。

【小説・エッセイ】

『ブルー・ゴールド』

／真保裕一

『マンチュリアン・リポート』

／浅田次郎

『烈日(東京湾臨海署安積班)』

／今野敏

『大いなる暗愚』／藤原正彦



【家庭・生活・趣味】

『あしたのお弁当』

／主婦と生活社

『いちばんおいしい日本茶の

いれかた』／朝日新聞出版



【社会・経済・政治】

『高校生からわかるイスラム世界』／池上彰

『犬を殺すのは誰か—ペット流通の闇—』

／朝日新聞出版

【その他】

『日本人の知らない日本語』(2もあります。)

／メディアファクトリー

●図書館からのひとこと●

図書館でできるこんなこと…貸出④

返却日までに返せない、まだ読み終わらない…という方は、図書館までご連絡ください。予約が入っていないければ貸出期間の延長ができます。

図書館司書の仕事を体験

8月31日・9月1日の2日間、「職場体験学習」として、平取中学校2年、吉田芽衣さん・笠原梨加さんの2名が図書館司書の仕事に挑戦しました。館内の清掃から始まり、返却された本を棚に戻したり、学校や保育所へ貸し出す本を選んだり、いたんだ本の補修作業をやってみたり…とさまざまな内容の作業に取り組み、最後に、児童館で絵本の読み聞かせをしてもらい、緊張しながらも無事に体験学習を終えました。

慣れない作業で、大変だったようですが、今後の図書館との末永いお付き合いのきっかけになってくれれば、と思います。



児童館で絵本の読み聞かせを体験する
吉田芽衣さん(左)・笠原梨加さん(右)

図書ワゴン(移動図書館車)運行日程[11月]

11月は次の日程で巡回します。

11月4日(木)【貫気別地区】

11:00～11:30 荷負 遠藤和江さん宅前

11:45～12:30 貫気別生活館

12:45～13:15 芽生生活改善センター

13:30～14:00 旭生活館

11月5日(金)【振内地区】

11:30～12:00 振内町民センター

12:00～12:30 山の駅ほろしり館

12:45～13:15 岩知志ふれあい館

13:45～14:15 豊穂生活改善センター

※本の返却や、不要になった本のご寄贈も受け付けています。ぜひお立ち寄りください。

今号の1枚



■地神祭（9月25日 二風谷 イオル・チセ復元地）

新しいチセが無事に復元できるように、伝統的な地神祭が行われました。

櫛の実俳句

仏鈴の透け行く先は虫淨土

蓼の花幼き頃の友の顔

馬呼んで秋の入日の影となり

新秋や客の残せし煙草の香

追われても稻穂をくぐる雀かな

白浜に砂の声聞く秋の風

添い寝する網戸の外は秋の声

秋雲の黙して流る我もまた

開拓の三世多かり敬老会

白湯酌んで無口な二人夜の秋

八十路なほ踊り太鼓に浮かれ出る

柴田 紫梢

内海アヤ子

渡辺 正子

石森 礼子

吉野千佳女

西塔しづえ

中道 サト

遠藤 紫光

熊谷 厚子

山崎 喜峰

井内 青風

清水 真子

人 口 5,660 (▲ 6)

男 2,725 (▲ 6)

女 2,935 (▲ 0)

世帯数 2,596 (▲ 3)

外国人登録数 127

町の人口

()内は前月比 9月末現在